

新潟まつり 最高の盛り上がりで幕

ごみも多量13トンも



佐渡汽船へ着いた「水上渡御」

新潟市の夏を彩る恒例の「新潟まつり」が二十日、夜東会場の「民謡流し」を皮切りに始まり、二十一日の「大民謡流し」、二十二日の「まつり行列」、花火大会、水上渡御、鳥風あげ、など多彩な行事を行い、最高の盛り上がりを見せ、二十三日幕を閉じた。

幸い、天気にも恵まれ、入出も四日間で延べ五十万人とこれまでの最高を記録しました。

二十日万代町通りには景気、二十一日には舞臺を中央の良いたルバヤン、第三会場の東郷通、古町、西郷味の幕が流れ、新潟まつり、通に移し踊りを繰り広げました。参加者は二百二十団、東会場の民謡流しは、四体一万六千五百人、十団体約三千人の人が参加、その日の浴衣に煙草をかぶり整然とした会社の団体、加し「新潟甚句」佐渡おかし、を二時間踊り続けました。

町内会、婦人会、子供会などのなかやか団体、さら

松浜地区の移動図書館では、市内に六か所ある移動図書館のうちただ一か所、図書館協会の佐藤奈津子さんが中心となって、「子どもへの読み聞かせ」を行って、小さな子どもたちから喜ばれています。

本といえ、学校のPTAサークル「松浜子ども本の会」で、ほんの少しがじりはじめたばかりですが、地域のためお役立ちに立つことができれば、

子どもへの読み聞かせをして

良い本と出合わせてやりたい。本のおもしろさをわかってほしい。好きな本(読める)の子に、読ませたい。子どもが読める本、一緒に歌をうたったり、かけ声かけたり、読み手の方も、

目ばたまきせず、ジツと聞き入る子。大きくあひづちをうたう子。紙芝居などでは、その場所へくると一緒に歌をうたったり、かけ声かけたり、読み手の方も、

わが国演劇興行の覇者大谷竹次郎が、活動写真の製作に乗り出し、松竹キネマを創立したのは、今から五十七年前の大正九年二月であった。新潟市に出生した松竹映画女優の第一号で、松竹が世に示した映画の第一作「島の女」という一巻物の中村錦蔵と共に主演したのである。

カメラ技法も演技指導も暗黒模索の時代で、これ

今年、最高の入出を記録して終わる「市民みんなのまつり」に近づいてきました。市民みんなのまつり、市民みんなのまつり、をめざし、来年に向けて準備を進めています。

自治振興会からも、思いやりある後押しをしていただいて、「松浜に図書館を作る会」を発足させ、市の方をお願いしている段階でもあります。

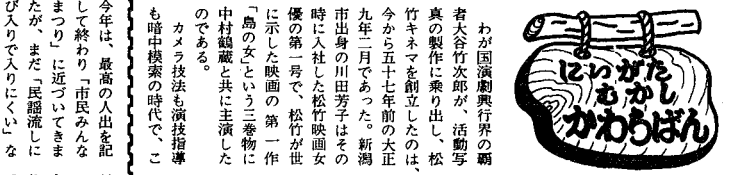
ごみの始末は守れず

まつりの入出が最高を、ごみの量も二十日から二十三日までに十三、四倍に増えました。民謡流しには、取集車両十数台、清掃員、アルバイト学生二百人を動員して作業を行いました。

民謡流しと花火大会が特に多く捨てられ、民謡流しには、ジュース、ビールの

初級ロシア語講座

期間 9月27日～12月6日 毎週火・金曜日 午後6時～8時
会場 福祉センター6階(新潟駅前)
受講料 全期間7,000円
テキスト代 1,000円
申し込み 日ソ協会新潟支部(住吉町25-91、第四銀行住吉町支店前22-7870番)に氏名、生年月日、年齢、性別、現住所、勤務先(学生は学校名、学年、学部)、電話番号を記入し、受講料、テキスト代を同封し送付されるか、直接支部事務所へ申し込みください。
受け付け 9月6日から9月17日まで(日曜日を除く)毎日正午から午後6時まで
定員 50人
主催 日ソ協会新潟支部



影を映り、同年十一月一日、東京歌舞伎座で上映された時は、上映に先だつて小山内薫が映画の理想を説いて挨拶をしたり山田耕作指揮の四十人のオーケストラの演奏があった。

銀幕のスター 川田芳子

が入社して松竹浦田の女優優美時代を迎えるに及んで、芳子の華やかなスター時代は終り、昭和十年「母の愛」を最後に引退した。

芳子は明治三十一年十月十七日、市山流舞踊の五世七郎の妹として生まれ、現在の六世七十

柳工によるインテリア・デザイン講座

新潟の「柳」。この柳を使ってデザインしてみませんか
期間 9月22日～12月8日毎週木曜(10回)
午後6時～8時半
会場 中央公民館
講師 後藤裕平氏
経費 千円(材料費)
定員 20人
申し込み 9月10日までに住所、氏名、年齢、電話番号を明記し、返信用封筒(住所、氏名を明記、50円切手貼付)を同封のうえ、9月10日までに中央公民館(西堀通り6千951)へ封筒の表に「短歌」と朱書きのこと

家庭園芸入門講座

～山の下公民館新館記念～
期間 9月21日～10月19日毎水曜日(5回)
午後6時半～8時半
会場 山の下公民館
講師 北越農事技師 青柳健一氏
内容 球根、花木、盆栽など
経費 500円程度(受講料無料)
定員 50人
申し込み 住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、返信用封筒(住所、氏名を明記、50円切手貼付)を同封のうえ9月13日までに山の下公民館(古川町4-12 千950 電話71-0017)へ